
消える前に、

Sorairo 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

消える前に、

【コード】

N97720

【作者名】

Sorairo 光

【あらすじ】

君が、君たちが、必要なんだ、僕の、勝手な願いのためだけど。

消える前に一つ、

願わせてほしい。

自分の存在は、君。

そして、みんな。

さらには、宇宙。

簡単に言えば無限大のエネルギー！。

ほんの些細なエネルギー体。

だから、消えるとか、存在するとか、たいした意味はないのかもしれない。

でも、自分で思考するエネルギー体になった僕は・・・消えるって事が怖い。

だからといって、存在させて、なんて許しを請うわけでもない。

消える前に一つ、願わせてほしい。

ただ、それだけ。

僕が願いたいのは・・・みんなの幸せ。

偽善者？みんながみんな、幸せになれるわけない？

はは・・・。

それでもいいさ。

それでも、一度でも生まれてきてよかったと思ってほしい。

生まれてきたことで差別を受けたかもしれない。

虐められているかもしれない。

倒産して、借金まみれになっているかもしれない。

病気で苦しんでいるかもしれない。

それでも、このエネルギー体、存在していてよかったと思ってほしい。

おいしいものが食べれた。

甘いものが食べれた。

水に有り付けた。

そんな些細なことでもいい。

少しでも幸せだと思ってほしい。

この、当たり前前の世界の中で、当たり前が、幸せなのだ。

でも、それは難しいね。

だから、僕が消える前に願わせてほしい。

これは、僕が願うだけ。

勝手に、願うだけ。

そして、勝手に、その願いのためだけに、あなたを必要としているだけ。

おこがましいって？

そりゃそうだろう。

だけど、必要だから、そう思った。

それだけのこと。

だから、僕が消える前に一つ、願わせてほしい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9772o/>

消える前に、

2010年11月18日03時09分発行